



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 7
令和7年 7月 22日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいだみ 人と和す

〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

**さあ夏休み。学校の勉強とは違うことに挑戦できるチャンスです。
無駄なことはない。がんばったことは必ず生き方につながっていきます。
あたまをきたえる。からだをきたえる。こころをきたえるなつやすみに！**

7月に入り、毎日、プール授業に手伝っていました。本校のプールは校舎から離れているし、担任の先生は着替えて指導し、また着替えて授業を行っています。安全面の配慮から本校では必ず複数で対応しています。水泳は気持ちが良く、楽しいのですが危険でもあり、苦手な人は苦手なまま卒業していきます。ほとんどの中学校でプール授業がなくなり、小学校で水の楽しさや危険、泳法などを教えておかなければいけないと思っています。水が怖くて震えていた児童が顔を付けられるようになり、友達と宝物探しで潜ったりする姿を見たときは感動します。私は中学校の体育教師生活が長かったので、成長した瞬間を見ることができるとエネルギーをもらってまたがんばろうと思います。いつもやさしく接するわけではありません。守ってほしいルール、身に付けてほしい基礎基本などは厳しく指導します。「こら～ちゃんと先生を見る。話を聞く。命がかかっているんだぞ。」と大声で指導しても授業が終わるとかわいい顔で「校長先生、明日も教えてね。顔を付けられるようになったよ。潜れるようになったよ。足をつかなくてもできるよ。鼻をつままなくてもできるよ。ターンやってみたいな。メドレーに挑戦しているよ。〇〇さんが支えてくれるから安心だ。今日もありがとうございました。校長先生焦げましたね。」など次から次に言葉が出てきます。成長速度は一人一人違うのです。一人一人ががんばっています。それぞれの成長度を聞いてほしいのです。教室の勉強も同じです。苦勞してできるようになれば自信になり、さらなるやる気につながります。やる気スイッチがONのまま頑張れるように家庭と連携したいところです。



児童集会のキラ人コーナーは、いつも温かい気持ちになります。自分の頑張っていることを全校児童の前で発表します。何でも良いのです。人のがんばりを否定したり笑ったりすることはしてはいけません。今回も見ている人を驚かせた児童がいました。都道府県の形を見ただけですぐに答えることができる児童です。体育館で「すごい」と声が上がりました。年齢関係なく後輩の凄さを認める上級生も立派です。私も担任と県名当てクイズに参加しますが勝ったことはありません。分からなくて「ヒントをちょうだい」というと「落花生がとれるよ」「恐竜の博物館があるよ」「桃など果物がたくさん採れる県だよ」など特徴をヒントにしてくれます。わけあって激しい運動はできませんが学校が楽しくて一生懸命勉強している児童です。好きだとか興味があることが学習意欲になっているのだということを教えてもらえます。人前で話すことが苦手だったことまで克服した瞬間に立ち会えてうれしくなりました。ずっと前から得意なことがあるのだから、いつかこの日が来ればいいなと思っていたのでさらに温かい気持ちになりました。



いつものやくそく！

(赤いランプの車) の
お世話にならないように！



なつやすみは いのちをまもる！

- べんきょうして、あたまをきたえる。
- うんどうして、からだをきたえる。
- おてつだいをして、こころをきたえる。